

## 指導力向上を目指し、いじめ対策研修会を開催

一宮市いじめ対策推進委員会では、教員の力量向上をめざして年間2回の研修会を行っています。8月の第1回研修会に引き続き、11月5日（火）に一宮市総合体育館多目的室で第2回いじめ対策研修会を開催しました。今回の研修会は、スマホ時代の注意点について理解を深めようと、ネット依存やネットいじめについて焦点をあてて実施しました。講師は、群馬大学名誉教授・NPO法人青少年メディア研究協会理事長の下田博次先生と同協会講師、下田真理子先生にお願いしました。



講師は、群馬大学名誉教授・NPO法人青少年メディア研究協会理事長の下田博次先生と同協会講師、下田真理子先生にお願いしました。

市内小中学校の代表として参加した教員からは「ネット中毒がどれほど深刻なものかが理解できた。家庭にスマホの危険性を積極的に伝えていくべきだと感じた。」「SNS（ソーシャルネットワーキングサービス）の怖さを改めて知った。ネット依存やいじめの危険性をまず私たち教師が知り、しっかりと子どもを守っていかなくてはならない。家庭との連携も大切にしていきたい。」などの意見がありました。今後も、スマートフォンの普及により広がる、SNSの問題やネット依存の問題について研修を深め、ネットいじめ防止につなげていきたいと考えています。

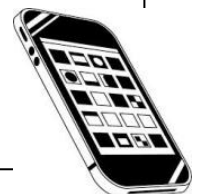
### ～「ペアレンタルコントロール」が大切 スマホ18の約束～

研修会では、講師の先生からスマートフォンの子どもの使用について「ペアレンタルコントロール」が重要であるという話がありました。「ペアレンタルコントロール」とは、親が子どもの携帯電話やスマートフォン、コンピュータなどの使用を管理し、制限することです。SNSの使用は家庭が中心となるため、保護者の方が理解を深め、家庭で対応することが必要であるとのことでした。

また、話の中で、アメリカのマサチューセッツ州のある母親が、13歳の息子にスマートフォンをプレゼントした際に一緒に渡した、使用契約書「スマホ18の約束」が紹介されました。

#### 「スマホ18の約束」（一部抜粋）

- ① これは私の携帯です。私が買いました。月々の支払いも私がします。あなたに貸しているものです。私ってやさしいでしょ？
- ② パスワードはかならず私に報告すること。
- ⑤ スマートフォンはあなたと一緒に学校には行けません。SMS（ショートメールサービス）をする子とは直接お話しなさい。人生のスキルです。
- ⑦ このテクノロジーを使って嘘をついたり、人を馬鹿にしたりしないこと。人を傷つけるような会話に参加しないこと。人のためになることを第一に考え、喧嘩に参加しないこと。
- ⑧ 人に面と向かって言えないようなことをこの携帯を使ってSMSやメールでしないこと。
- ⑨ 友達の親の前で言えないようなことをSMSやメールでしないこと。自己規制してください。
- ⑭ とくどき家に携帯を置いて出かけてください。そしてその選択に自信を持ってください。携帯は生きものじゃないし、あなたの一部でもありません。携帯なしで生活することを覚えてください。流行に流されない、FOMO(自分だけが取り残されていると思うってしまう不安感)を気にしない器の男になってください。



## 番組の紹介 NHK いじめをノックアウト

毎週金曜 [Eテレ] 前9:50~10:00  
(再) 毎週土曜 [Eテレ] 前6:35~6:45  
(再) 毎週金曜 [Eテレ] 後7:50~8:00

この番組は、教室の子どもたちが、AKB48の高橋みなみさんと一緒に考えることで「いじめをしない・させない・許さない」心を育てていく番組です。

○いじめがどれだけ悲しい結果を生むかを訴える。

○もしいじめられたら、どう対処すべきかを伝える。

○どうして、いじめてしまうのか。いじめる心にも科学的なアプローチを試みる。

毎回、番組はいじめについての「手記」や「証言」・「ルポルタージュ」で始まり、高橋さんの視聴者への問いかけで終わります。

このような番組をもとに、親子でいじめについて話し合ってみるのはいかがでしょうか。

※Web上で番組を見ることができます。

(NHK for School アドレスは [http://www2.nhk.or.jp/navi/detail/index.cgi?id=05\\_0002](http://www2.nhk.or.jp/navi/detail/index.cgi?id=05_0002))



### ☆向山小の取り組み

#### — 縦割り班活動 —

向山小学校では、いじめ防止に向け、縦割り班活動に重点を置いています。縦割り班活動は、班の一員としての自覚を養い、高学年は低学年を思いやり、低学年は高学年に素直な心で接しながら、全員が協力しようとする意識を高める活動です。縦割り班で行う行事や活動を通して豊かな心を育てていきたいと考えています。2学期は、運動会で踊る織姫音頭の練習、花いっぱい運動、なかよし読書、ふれあい遊びを行いました。

ペア学年の縦割り班ごとに行った花いっぱい運動では、高学年の子が低学年の子の植木鉢に土を入れるのを優しく手伝ったり、パンジーの苗の植え方を丁寧に教えたりする姿が見られました。なかよし読書では、事前に高学年が低学年に読んであげたい本を自分で選び、一生懸命練習してくれたようで、当日は、とても上手に読み聞かせをしてくれました。

こうした縦割り班活動を積み重ねていくことが、思いやりの心を育て、いじめを生まないよりよい人間関係づくりにつながっていくと思います。

#### — いじめ防止について考える話し合い活動の実践 —

(1) 話し合い活動・コミュニケーション技術向上の活動(学級活動)

①「友だちのよいところを見つけよう！」(小学校1・2年生)

②「ちがいをみとめてともに考えよう」(小学校3~6年生)

(2) 人権集会(児童会の取り組み)

①目指したい学校の姿についての発表

②各クラスで話し合い、作った人権に関する標語(各教室に掲示)の発表

(3) 人権に関するビデオ(アニメ「勇気のお守り」)

①全校視聴(各教室)

②視聴後に感想記入や各クラスでの話し合い

